

# 東大和市、中学体育館に

## 都協自治体向け提案拍車

### GHPと発電機

東京都LPガス協会（尾崎義美会長）は9日、東京・千代田区の主婦会館プラザエフで第60回通常総会を開いた。尾崎会長はあいさつで、東大和市の中学校の体育館でLPガスGHPと非常用発電機の設置工事が始まったことを明らかにした。避難所に指定された市立中学5校の体育館に設置する。容器18本による供給でエネルギーコストの低減に貢献し、非常時でも人手による運搬が可能で炊き出しなどに応用できることが評価された。



尾崎義美会長

総会では、重点事業として▽保安対策事業▽需要促進事業▽販売事業者指導支援事業▽取引適正化推進事業——を行うことを決めた。非改選期だが、服部哲男専務理事が

退任し、後任に佐藤祐司氏が就いた。会員数は639、事業規模は9651万円。需要促進は、都内でのLPガスGHPの採用拡大と熱中症対策を追い風

に提案を拡大させる。避難所や一時滞在施設などへの非常用発電設備のPR活動も強化する。取引の適正化は、2019年度の標準料金の公表率が85・2%と18年度

の34・1%から大幅に改善した。今後も標準料金の公表を推進して透明性を高める。

尾崎会長は「府中市だけでなく東大和市にも避難所となる学校体育館にLPガス設備を導入する

道筋を作ることができたのは誇りであり名譽だ。LPガスが保存期限が長く災害に強いことを、行政などに自信を持ってアピールできる。需要を促進し、都内のLPガス事業が発展して業界が永續することを願う」とあいさつした。